

序論: 自己欺瞞と教会の真理

- 自己欺瞞とは、自分が間違っているのに正しいと思い込むこと。
- コリント教会にも自己欺瞞があった。
- 教会が見据えるべき真理とは何か。

文脈: 個人の歩みから教会へ

- 先週は「報いのある人生」として個々人の責任を学んだ。
- 今週はキリスト者の群れである教会に焦点を当てる。

1. 教会は神の宮 その宮を壊すな (16-17 節)

- 3:16 「あなたがたは、自分が神の宮であり、神の御霊が自分のうちに住んでおられることを知らないのですか。」
 - この箇所は、個々人よりもキリスト者の群れである教会が神の宮であり、御霊の住まいであることを示している。
 - 元のギリシャ語聖書には「自分が」「自分の」という言葉はない。直訳は「あなたがたは、あなたがたが神の宮であり、神の霊があなたがたのうちに住んでおられることを知らないのですか」。
 - 神の宮とは、エルサレム神殿の最奥にある至聖所、神の臨在がある最も聖なる場所を指す。
 - 私達は教会という主の群れを何よりも大切にしなければならない。
- 3:17 「もし、だれかが神の宮を壊すなら、神がその人を滅ぼされます。神の宮は聖なるものだからです。あなたがたは、その宮です。」
 - 教会という神の宮は、主の臨在に満ちるべき「至聖所」として、最も聖別されなければならない。
 - 私たちは教会を聖なるものとして、大切に守り、尊重していかなければならない。
 - 富川福音教会、日高キリスト教会は聖霊と主の臨在があふれるべき最も聖なる群れである。

2. 自分を騙すな 愚かになれ (18-20 節)

- 3:18 「だれも自分を欺いてはいけません。あなたがたの中に、自分はこの世で知恵のある者だと思う者がいたら、知恵のある者となるために愚かになりなさい。」
 - コリント教会の人々の自己欺瞞は「自分は知恵あるものだ、自分は何が正しいかをわかっている」と思い込んでいたこと。
 - 彼らは分裂分派を起こしていたが、自分たちが正しい選択をしていると信じていた。
 - パウロは「本当に知恵ある者になりたいならば、愚かになりなさい」と教える。
 - この世の知恵は神の前では嘘であり、この世の人々が愚かと思うようなことを選択すべき。
 - 献金もこの世の人々には愚かに見えるが、救われた私たちはその価値を知っている。
- 3:19 「なぜなら、この世の知恵は神の御前では愚かだからです。「神は知恵のある者を、彼ら自身の悪巧みによって捕らえる」と書かれており、」
- 3:20 「また、「主は、知恵のある者の思い計ることがいかに空しいかを、知っておられる」とも書かれています。」
 - 大きな倉を建てたお金持ちの例え話(ルカ 12:21)のように、この世の富を蓄えることは神に對して富まないことである。

- 神の国の財産を蓄えることが真の知恵である。
- この世の知恵は完全ではなく、永遠の価値はない。
- 本当の知恵は主の中にこそある。
- この世的には愚かでも、主が喜んでくださる選択をあえて選びとる者となろう。

3. 人を誇るな 神のものとして歩め (21-23 節)

- 3:21 「ですから、だれも人間を誇ってはいけません。すべては、あなたがたのものです。」
 - コリント教会の人々は特定の指導者を誇っていたが、パウロはそれをやめるように言う。
 - 指導者は支配者ではなく、むしろコリント教会の人々のものだった。
 - 牧師も会衆に自由に用いられるべきである。
- 3:22 「パウロであれ、アポロであれ、ケファであれ、また世界であれ、いのちであれ、死であれ、また現在のものであれ、未来のものであれ、すべてはあなたがたのもの、」
 - 世界もいのちも死も、現在も未来もすべては教会のものである。
 - 神の宮である教会は、すべてを自分のものとして扱うことを許可されている。
- 3:23 「あなたがたはキリストのもの、キリストは神のものです。」
 - 教会はキリストのものである。
 - 教会は教職者を含めたすべてのものをキリストのために用いなければならない。
 - キリストでさえ父なる神のしもべとして振る舞われたように、教会もへりくだってすべてをキリストのために用いるべきである。

結論: 私たちはキリストのもの

- 私たちは自己欺瞞に陥りがちだが、聖書は「あなたがたはキリストのもの」と語る。
- 私たちは自分のものではなく、キリストのものであり、キリストは神のものである。
- 教会は分裂させてはならない「神の宮」であり、神の臨在が宿る最も聖なる場所。
- 主から委ねられたすべてをキリストのために用いるのが教会である。
- 人を誇らず、自分の知恵やこの世の知恵に頼らず、ただキリストに目を向けて歩もう。
- 教会を互いに愛し合い、キリストのために守り通していこう。
- この世的には「愚か」と言われることをあえて選び、キリストが喜ばれることを実践し、真に知恵のある者として歩んでいこう。
- 「あなたがたはキリストのもの、キリストは神のものです」このみことばに立って、へりくだって仕え合い、主の栄光を現していこう。

応答のとき: 黙想と祈り

- 教会をどのように見ているか。
- この世の知恵に頼りすぎて、主の前に愚かさを選ぶことをためらっていないか。
- キリストのものとして、自分に委ねられているものをどのように用いているか。